



JR西日本 大阪環状線 京橋駅
 所在地 / 大阪市都島区
 事業主 / 西日本旅客鉄道株式会社
 設計 / ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
 建築工事 / 大鉄工業株式会社
 電気工事 / 西日本電気システム株式会社
 リニューアル竣工 / 2022年3月

東口ファサード



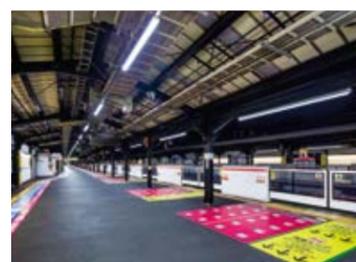
水面をイメージして、まぶしさを抑えたSmartArchi ソフトライトの調光調色タイプをランダムに配置し、水都大阪に架かる橋をモチーフとした建築意匠も併せて自動照明演出しているコンコース



SmartArchi フロントライト ラインタイプが採用された改札内の天井



凹凸のある壁面と照明で波紋を表現し、ベンチ下の間接照明で足元を照らしている北口旅客トイレ



8フィートの特注ホーム用LEDベースライト(右列)が線路とホーム間を照らして視認性を確保



アッパーライトとフットライトによりシンボルツリーを照射している展望デッキ

JR西日本 大阪環状線 京橋駅

二つの「きょう」の架け橋となる水都大阪を象徴する駅に一新

大阪環状線とJR東西線、学研都市線が立体交差するJR京橋駅は、京阪電鉄や大阪メトロとも接続するターミナル駅。乗降客数がJR西日本の上位を占める駅でありながら、交錯する旅客動線や複雑なバリアフリー経路に加え、老朽化などの課題があった。このため、JR西日本は京橋駅を大阪の「ヒガシ」の玄関口と位置付け、安全で快適な駅空間を創造するためのバリアフリー改修と北口のリニューアルを行い、大阪環状線全体のイメージ刷新も図った。照明計画では、駅を挟んで東西でまちの雰囲気や全く異なることから、

東西のコンコースを「京橋(きょうばし)」の「二つの『きょう』の架け橋」と捉え、調光調色システムを導入。時間帯に応じて色温度を変えることで、朝は先進の東口ビジネス街への出発(今日)、夕方には人情味があふれる西口商店街への誘導(興)を演出している。西日本旅客鉄道株式会社大阪工事事務所のおおまた啓仁氏は「西口コンコースでは、水都大阪に架かる橋をモチーフとした建築意匠に、橋に映る水面をイメージした照明を配置して演出。採用にあたって実物大のモックアップで何度も検証を行ったことにより、これまで暗かったコンコースが明るくきれいであり、印象的な空間に生まれ変わった」と語る。

- 主な納入設備
- SmartArchi
 - アーキライン
 - ライトマネージャーFx
 - シームレス建築化照明器具
 - LEDダウンライト
 - ライトアップ演出用コントローラ

LIGHTING STYLE
 詳しい照明設計や動画をご覧ください